

# 専用ホストによるクラウド サービスのライセンス条項の更新

よく寄せられる質問

## 概要

マイクロソフトは、アウトソーシング権と専用ホストによるクラウド サービスに関するライセンス条項を変更します。

現在、マイクロソフトのアウトソーシング条項では、オンプレミスのお客様が、従来の外部委託者からリースされ、従来の外部委託者によって管理されるハードウェアにマイクロソフトのソフトウェアを展開することが可能となっています。専用ホストによるクラウド サービスの出現により、従来のアウトソーシングとクラウド サービスとの境界線が曖昧になるとともに、クラウド サービスでもオンプレミス ライセンスを使用できていました。そのため、オンプレミス/従来のアウトソーシングとクラウド サービスとの区別を明確にし、マルチテナント クラウド サービスと専用ホストによるクラウド サービスとのライセンス条項の一貫性を向上させるために、マイクロソフトのオンプレミス ライセンスに関するアウトソーシング条項が更新されることになりました。

発表の全文については、マイクロソフトの[ライセンスに関するブログ記事](#)をご覧ください。これらの変更による貴社への影響については、担当のマイクロソフト アカウント マネージャーまたはパートナーまでお問い合わせください。

**アウトソーシング権に関連するライセンス条項はどのように変更されますか。**

2019 年 10 月 1 日以降、パブリック クラウド プロバイダーであるマイクロソフト、Alibaba、Amazon (VMware Cloud on AWS を含む)、Google が提供する専用ホストによるクラウド サービスで、ソフトウェア アシユアランスおよびモビリティ権なしで購入したオンプレミス ライセンスを展開できなくなります。これらのプロバイダーのことを「Listed Provider」と呼びます。

**変更後は、どうすればマイクロソフト製品のライセンスを Listed Provider から取得できますか。**

お客様は、専用ホストによるクラウド サービス上で、以下の方法によりマイクロソフト製品のライセンスを Listed Provider から取得できます。

- [認定モビリティパートナー](#)でもある任意の Listed Provider が提供する専用ホストによるクラウド サービス上で、[ソフトウェア アシユアランスによるライセンス モビリティ](#)付きのマイクロソフトのライセンスを使用することができます。
- 新たにリリースされた [Azure Dedicated Host](#) など、ソフトウェア アシユアランス付きのマイクロソフトのライセンスを、更新された [Azure ハイブリッド特典](#)と共に使用できます。
- [Services Provider License Agreement \(SPLA\)](#) プログラムに参加する Listed Provider、およびクラウド サービス料金にライセンスが含まれる Microsoft Azure オファリングを通じて、マイクロソフトのソフトウェアを使用できます。

# 専用ホストによるクラウド サービスのライセンス条項の更新

よく寄せられる質問

**専用ホストによるクラウド サービスについて教えてください。**

専用ホストによるクラウド サービスとは、一般的には、主要なパブリック クラウド プロバイダーがオンデマンドおよび従量制で柔軟にリソースを提供するサービスのことです。マルチテナント クラウド サービスと同じようなものと考えてください。

**Listed Provider から提供される専用ホストによるクラウド サービスにはどのようなものがありますか。**

Azure Dedicated Host、Amazon EC2 Dedicated Hosts、VMware Cloud on Amazon Web Services (AWS)、Google の単一テナント ノードなどがあります。

**Listed Provider は、どこで確認できますか。**

変更が有効となる 2019 年 10 月以降の製品条項に、各 Listed Provider へのリンクが記載される予定です。

**今回のライセンスの変更は、どういった製品が対象になっていますか。**

2019 年 10 月 1 日の時点でマイクロソフトのボリューム ライセンスで利用可能なすべてのオンプレミス ソフトウェアに、アウトソーシング条項の変更が適用されます。

**今回の変更が適用されるのは新しいライセンスだけですか。それともソフトウェア アシユアランスなしの既存のライセンスにも適用されるのでしょうか。**

変更は、2019 年 10 月 1 日以降に購入する新しいライセンスだけに適用されます。お客様が現在所有している権利は、発効日である 2019 年 10 月 1 日より前に購入したライセンスに基づいて使用している既存のバージョンの製品に引き続き適用されます。

2019 年 10 月 1 日以降にリリースされる新しいバージョンの製品にアップグレードする場合、または同日以降に新しいライセンスを購入する場合は、更新されたアウトソーシング条項に従う必要があります。

**Microsoft Azure Dedicated Host とは何ですか？**

Azure Dedicated Host は、お客様の組織専用の物理サーバーで 1 台以上の Azure 仮想マシンをホストできる新しい Azure サービスです。サーバーの容量は他のお客様と共有されません。お客様の組織では、単一テナント専用のハードウェアを利用できます。[こちらの記事](#)をご覧ください。

**2019 年 10 月の製品条項の更新は、ソフトウェア管理のアウトソーシングにどう影響しますか。**

通常は、2019 年 10 月の製品条項の更新後も、お客様が既に有している、従来の外部委託者 (Authorized Outsourcer) が日常の管理を行うハードウェアでソフトウェア ライセンスを展開する権利が失われることはありません。ただし、この更新により、Listed Provider が提供する専用ホストによるクラウド サービスで、2019 年 10 月 1 日以降に、ソフトウェア アシユアランスおよびモビリティ権なしで購入したライセンス、および同日以降にリリースされた製品バージョンを展開することはできなくなります。これらの Listed Provider は製品条項内のリンクで確認でき

# 専用ホストによるクラウド サービスのライセンス条項の更新

よく寄せられる質問

ます。Alibaba、Amazon (VMware Cloud on AWS を含む)、Google、マイクロソフトなどが Listed Provider となっています。

**Listed Provider に関する変更はいつから適用されますか。**

お客様は、既存のライセンスに基づいて、Listed Provider の専用ホストによるクラウド サービスで、引き続き既存バージョンのソフトウェアを使用できます。今回の変更は、2019 年 10 月 1 日以降に取得した新しいライセンス、または同日以降にリリースされた新しいバージョンだけに影響します。

サブスクリプション ライセンスでソフトウェアを使用しているお客様には、サブスクリプションの更新日または 2019 年 10 月 1 日以降に提供されるソフトウェアのバージョンへのアップグレード日のうち、いずれか早い方の日から新しい条項が適用されます。

**特定の Listed Provider で展開済みのライセンスを持っていない場合、2019 年 10 月 1 日以降に、既存のライセンスをその Listed Provider の専用ホストによるクラウド サービスに移行することはできますか。**

2019 年 9 月 30 日以前に取得したライセンスに基づく既存バージョンの使用に関しては、お客様がそれらを取得したときに有効であった製品条項が引き続き適用されます。ソフトウェア管理のアウトソーシングに関する条項の更新は、2019 年 10 月 1 日以降に取得したライセンス、または同日以降にリリースされた新しいバージョンだけに適用されます。

**2019 年 10 月 1 日以降にソフトウェア アシユアランスを更新したり、新しいバージョンにアップグレードしたりするとどうなるのでしょうか。**

ソフトウェア アシユアランスを更新しても、お客様の既存バージョンの永続的な使用权に影響はありません。2019 年 10 月 1 日以降にリリースされる新しいバージョンにアップグレードする場合、更新されたアウトソーシング条項に基づいてその新しいバージョンを展開する必要があります。

**これらの Listed Provider 以外のクラウド プロバイダーで実行している場合はどうなりますか。**

これらの変更は、Listed Provider のデータセンター外でのライセンスの展開および使用には適用されません。

**専用ホストによるクラウド サービスのサードパーティ オファリングにも変更が適用されますか。**

はい。Listed Provider の専用ホストによるクラウド サービスのファーストパーティ オファリングとサードパーティ オファリングの両方に変更が適用されます。

**ソフトウェア管理のアウトソーシングに関する条項の更新は、認定モビリティ パートナーのサービスや製品でライセンスを展開する権利に影響しますか。**

ソフトウェア アシユアランスによるライセンス モビリティ権が拡張され、認定モビリティ パートナーである Listed Provider の専用ホストによるクラウド サービスでライセンス モビリティの対象ライセンスを展開できるようになります。

# 専用ホストによるクラウド サービスのライセンス条項の更新

よく寄せられる質問

アウトソーシングに関する更新は、認定モビリティ パートナーの共有サーバーでライセンスを展開する権利には影響しません。

**Azure ハイブリッド特典**の条項の拡張は、Azure 上でのワークロードの実行オプションにどのように影響しますか。これらの更新は、現在の Azure ワークロードに影響しますか。

Azure 共有サーバーで実行されるワークロードに関して、Azure ハイブリッド特典では Windows Server Standard のワークロード移行権が 31 日から 180 日に拡張されますが、それ以外に変更はありません。Azure ハイブリッド特典の更新は、主として新しい Azure オフリングである Azure Dedicated Host でのワークロード実行オプションに対処するためのものとなります。

**Azure ハイブリッド特典の権利は、Azure 共有サーバーで実行されるワークロードと Azure Dedicated Host で実行されるワークロードとはどのように異なりますか。**

SQL Server Standard と Windows Server Standard の場合には、Azure 共有サーバーと Azure Dedicated Host とで Azure ハイブリッド特典の権利に違いはありません。ワークロードを特定の環境から別の環境へ移行する場合のライセンス要件も同じです。

SQL Server Enterprise と Windows Server Datacenter の場合には、Azure Dedicated Host のワークロードのライセンスを仮想マシンまたは物理ホストのいずれかによって取得することができます。Azure Dedicated Host のワークロードのライセンスを仮想マシンによって取得する場合のライセンス要件は、Azure 共有サーバーでワークロードのライセンスを取得する場合と同じになります。ただし、ホスト レベルで Azure Dedicated Host のライセンスを取得する場合には、Azure Dedicated Host で使用可能な物理コアと同数のコア ライセンスを割り当てる必要があります。それにより、ホスト上で仮想マシンを必要な数だけ実行できるようになります (ただし、ホスト自体に技術的な制約がある場合もあります)。

SQL Server および Windows Server のワークロードは、180 日以内に Azure Dedicated Host に移行してください。ホスト レベルで Azure ハイブリッド特典を Azure Dedicated Host に適用する場合は、Windows Server Datacenter 用の Azure ハイブリッド特典のデュアル展開オプション (Azure とオンプレミスの両方でワークロードを同時に実行すること) は利用できなくなります。

**専用ホストによるクラウド サービスでボリューム ライセンス製品を展開するのにソフトウェア アシユアランスが必要ですか (例: Azure Dedicated Host)。**

2019 年 10 月 1 日以降にライセンスを取得した製品は、更新されたソフトウェア管理のアウトソーシングに関する条項が適用され、製品固有の使用権で許可されている場合を除いて、Listed Provider のサーバーで使用することはできません。Listed Provider の専用ホストによるクラウド サービスでの使用を許可する製品固有の使用権の例としては、Azure ハイブリッド特典 (Azure のみ)、ソフトウェア アシユアランスによるライセンス モビリティ (Azure またはライセンス モビリティの認定プロバイダー) があります。これらのライセンスには、ソフトウェア アシユアランスが必要になります。ただし、ライセンス付きのオフリングを通じて、Services Provider License Agreement プログラムに参加する Listed Provider または Microsoft Azure がホストするソフトウェアを使用することもできます。

# 専用ホストによるクラウド サービスのライセンス条項の更新

よく寄せられる質問

2019年9月30日以前にライセンスを取得した既存の製品バージョンの使用に関しては、ライセンスの取得時に有効であった製品条項が適用されます。こうした場合の Listed Provider の専用ホストによるクラウド サービスでのライセンスの使用については、通常はおお客様の独自のオンプレミス ハードウェアまたは従来の組織専用の外部委託者のハードウェアでライセンスを使用する場合との一貫性が確保されています。

## 各製品のライセンスに関する更新

**Listed Provider の専用ホストによるクラウド サービスで Windows Enterprise を実行できますか。ソフトウェア アシユアランスが必要になりますか。**

2019年10月1日以降に取得した Windows Enterprise のライセンスは、Windows VDA E3/E5 ユーザー ライセンスを除き、Listed Provider の専用ホストによるクラウド サービスでは使用できません。

例外として、2019年10月1日から2020年10月1日までの間に、Windows Enterprise の SA の適用範囲または E3/E5 サブスクリプションを更新するお客様には、既存の Windows Enterprise のワークロードを Listed Provider の専用ホストによるクラウド サービスに移行するための猶予期間が与えられます (2020年10月1日まで)。

**Listed Provider の専用ホストによるクラウド サービスで Office Professional Plus を実行できますか。ソフトウェア アシユアランスが必要になりますか。**

2019年10月1日以降に取得した Office Professional Plus のライセンスは、ソフトウェア アシユアランスの有無にかかわらず、Listed Provider の専用ホストによるクラウド サービスでは使用できません。Exchange とは異なり、SharePoint、Skype for Business、Office Professional Plus には、ソフトウェア アシユアランスによるライセンス モビリティが存在しません。

2019年9月30日以前に取得した Office Professional Plus のライセンスの場合、Listed Provider の専用ホストによるクラウド サービスでの使用については、通常はおお客様の独自のオンプレミス ハードウェアまたは従来の組織専用の外部委託者のハードウェアでライセンスを使用する場合との一貫性が確保されています。

**Listed Provider の専用ホストによるクラウド サービスで Exchange、SharePoint、または Skype for Business Server を実行できますか。ソフトウェア アシユアランスが必要になりますか。**

2019年10月1日以降に取得したライセンスは、ソフトウェア アシユアランスまたはそれに相当するサブスクリプションの権利を有し、ソフトウェア アシユアランスによるライセンス モビリティ権を行使する場合を除いて、Listed Provider の専用ホストによるクラウド サービスでは使用できません。ただし、Services Provider License Agreement プログラムに参加する Listed Provider がホストするソフトウェアを使用することはできます。

# 専用ホストによるクラウド サービスのライセンス条項の更新

よく寄せられる質問

2019 年 9 月 30 日以前に取得したライセンスの場合、Listed Provider の専用ホストによるクラウド サービスでの使用については、通常はお客様の独自のオンプレミス ハードウェアまたは従来の組織専用の外部委託者のハードウェアでライセンスを使用する場合との一貫性が確保されています。

**Listed Provider の専用ホストによるクラウド サービスで Windows Server を実行できますか。ソフトウェア アシユアランスが必要になりますか。**

Windows Server には、ライセンス モビリティが存在しません。2019 年 10 月 1 日以降に取得した Windows Server のライセンスは、ソフトウェア アシユアランスの有無にかかわらず、Listed Provider の専用ホストによるクラウド サービスでは使用できません (Azure Dedicated Host を除く)。Azure ハイブリッド特典に基づいて Azure Dedicated Host で使用することはできます。Windows Server のソフトウェア アシユアランスまたはそれに相当するサブスクリプションの権利を有するお客様のみ、Azure ハイブリッド特典を利用できます。専用ホストによるクラウド サービスで Windows Server を使用するためのもう 1 つの方法として、Azure または Services Provider License Agreement プログラムに参加する Listed Provider により提供されるライセンス付きのサービスを利用することもできます。

2019 年 9 月 30 日以前に取得した Windows Server のライセンスの場合、Listed Provider の専用ホストによるクラウド サービスでの使用については、通常はお客様の独自のオンプレミス ハードウェアまたは従来の組織専用の外部委託者のハードウェアでライセンスを使用する場合との一貫性が確保されています。ソフトウェア アシユアランスまたはそれに相当する Windows Server のサブスクリプションの権利を有するお客様は、これらのライセンスに対して Azure ハイブリッド特典の権利を行使することもできます。

**2019 年 9 月 30 日以前に購入したライセンスを持っている場合、Azure ハイブリッド特典を利用するとどのようなメリットがありますか。**

Azure ハイブリッド特典では、仮想マシンごとにライセンスを取得することも (Datacenter または Standard)、物理ホストごとにライセンスを取得して、お客様が使用可能なコアの数だけコア ライセンスを割り当てることも (Datacenter のみ) できます。オンプレミス ライセンスでは、仮想マシンごとにライセンスを取得することはできず、サーバー上のすべての物理コアのライセンスを取得する必要があります。さらに、Azure ハイブリッド特典の権利に基づいて Azure Dedicated Host 上で Windows Server を使用する場合は、オンライン サービスの使用条件 (OST) によって使用が管理され、ベース CAL は不要になります。オンプレミス ライセンスでは、ユーザーまたはデバイスによるアクセスにベース CAL が必要です。OST に基づく Azure 使用权では、顧客がアクセスするためのソリューションを Azure 上でホストすることも認められます。

**Listed Provider の (Azure 以外の) 専用ホストによるクラウド サービスで SQL Server を実行できますか。ソフトウェア アシユアランスがある場合はどうなりますか。**

2019 年 10 月 1 日以降に取得した SQL Server のライセンスは、ソフトウェア アシユアランスまたはそれに相当するサブスクリプションの権利を有し、ソフトウェア アシユアランスによるライセンス モビリティ権を行使する場合を除き、Listed Provider の専用ホストによるクラウド サービスでは使用できません。ただし、ライセンス付きのオフリングを

# 専用ホストによるクラウド サービスのライセンス条項の更新

よく寄せられる質問

通じて、Services Provider License Agreement プログラムに参加する Listed Provider がホストする SQL Server を使用することができます。

2019 年 9 月 30 日以前に取得した SQL Server のライセンスの場合、Listed Provider の専用ホストによるクラウド サービスでの使用については、通常はおお客様の独自のオンプレミス ハードウェアまたは従来 of 組織専用の外部委託者のハードウェアでライセンスを使用する場合との一貫性が確保されています。オンプレミス ライセンスを使用するには、サーバーのすべての物理コアのライセンスを取得するか、仮想マシンごとにライセンスを取得 (仮想マシンあたり 4 つ以上のライセンスを取得) する必要があります。

**Azure Dedicated Host で SQL Server を実行できますか。ソフトウェア アシユアランスがある場合はどうなりますか。**

2019 年 10 月 1 日以降に取得した SQL Server のライセンスは、ソフトウェア アシユアランスまたはそれに相当するサブスクリプションの権利を有し、Azure ハイブリッド特典の権利を行使する場合を除き、Azure Dedicated Host では使用できません。ただし、ライセンス付きのオフリングを通じて、Azure でホストされる SQL Server を使用することができます。

2019 年 9 月 30 日以前に取得した SQL Server のライセンスの場合、Azure Dedicated Hosts での使用については、通常はおお客様の独自のオンプレミス ハードウェアまたは従来 of 組織専用の外部委託者のハードウェアでライセンスを使用する場合との一貫性が確保されています。ソフトウェア アシユアランスまたはそれに相当する SQL Server のサブスクリプションの権利を有するお客様は、Azure ハイブリッド特典の権利を行使することもできます。これにより、仮想マシンごとにライセンスを取得することも (Enterprise または Standard)、物理ホストごとにライセンスを取得して、お客様が使用可能なコアの数だけコア ライセンスを割り当てることも (Enterprise のみ) できるようになります。オンプレミス ライセンスでも、仮想マシンごとにライセンスを取得することも (Enterprise または Standard)、物理ホストごとにライセンスを取得することもできますが、物理ホストごとにライセンスを取得する場合は、サーバーのすべての物理コアのライセンスを取得する必要があります。

**Azure ハイブリッド特典を利用して Azure Dedicated Host にライセンスを割り当てた場合には、どのソフトウェア アシユアランスの権利が適用されますか。**

Azure ハイブリッド特典の使用条件により、SQL Server のオンプレミスのフェールオーバーの権利に相当する権利が付与されます。また、ホスト レベルで SQL Server Enterprise Core のライセンスを取得している場合には、オンプレミスの無制限の仮想化の権利に相当する権利が付与されます。SQL Server と Windows Server の両方に対して、ディザスター リカバリーの権利と新しいバージョンの権利を行使できます。

**Listed Provider の専用ホストによるクラウド サービスで無制限の仮想化を利用できますか。**

2019 年 10 月 1 日以降に取得した SQL Server または Windows Server のライセンスでは、Listed Provider の専用ホストによるクラウド サービスで無制限の仮想化を利用する権利は付与されません。

## 専用ホストによるクラウド サービスのライセンス条項の更新

よく寄せられる質問

2019 年 9 月 30 日以前に取得した、ソフトウェア アシユアランス付きの SQL Server のライセンスの場合は、Listed Provider の専用ホストによるクラウド サービスで、SQL Server Enterprise Edition での無制限の仮想化を利用できます。お客様は、使用するサーバーのすべての物理コアにコア ライセンスを割り当てる必要があります。

2019 年 9 月 30 日以前に取得した Windows Server のライセンスの場合は、Listed Provider の専用ホストによるクラウド サービスで、Windows Server Datacenter Edition での無制限の仮想化を利用できます。お客様は、使用するサーバーのすべての物理コアにコア ライセンスを割り当てる必要があります。

**2019 年 9 月 30 日以前に購入したライセンスに Azure ハイブリッド特典は適用されますか。**

Azure ハイブリッド特典は、ソフトウェア アシユアランスが適用されるすべての Windows Server Standard/Datacenter ライセンスと SQL Server Standard/Enterprise Core ライセンス、およびそれに相当する権利が付与されるサブスクリプション ライセンスに適用されます。Azure ハイブリッド特典の詳細については[こちら](#)でご確認ください。